

## 朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標の進捗状況

## 基本目標 1 「産業の活性化と働きやすい環境づくり」

数値目標	策定当初	現状値	目標値	備考
①民営事業所従業員数の向上	40,003人 (H26)	40,923人 (H28)	41,000人 (H31)	H21 から H26 にかけて-3.7%と減少が続く状況に歯止めをかけ、5年前と同程度まで向上させる（出典：総務省経済センサス）。
②女性就業率（30～39歳）の向上	61.2% (H22)	66.7% (H27)	64.5% (H31)	H22 の女性就業率の全国平均64.5%を達成する（出典：国勢調査）。

## 基本目標 2 「地域の特色を生かした選ばれるまちづくり」

数値目標	策定当初	現状値	目標値	備考
①これからも朝霞市に住み続けたいと考えている市民の割合の向上	84.8% (H25)	データなし (次回 R01 集計予定)	90% (H31)	「ずっと住み続けたい41.5%」、「当分は住み続けたい43.3%」の回答割合を向上させる（出典：朝霞市民意識調査）。
②朝霞市が好きと感じている青少年の割合の向上	81.9% (H25)	データなし (次回 R01 集計予定)	85% (H31)	「好き38.5%」、「まあ好き43.4%」の回答割合を向上させる（出典：朝霞市青少年アンケート）。

## 基本目標 3 「子どもを生み・育てやすいまちづくり」

数値目標	策定当初	現状値	目標値	備考
①合計特殊出生率の維持・向上	1.45 (H22～H26の平均値)	1.47 (H25～H29の平均値)	1.50 (H27～H31の平均値)	1.35～1.5 で変動する状況を安定させ、近年の上昇傾向を維持する（出典：埼玉県保健所）。
②就学前後 0～9 歳の純移動数の向上	-100人 (H24～H26の平均値)	-136人 (H27～H29の平均値)	0人 (H29～H31の平均値)	子育て世帯の転出超過の状況に歯止めをかけ、0～9歳の純移動数（転入－転出）を好転させる（出典：総務省住民基本台帳人口移動報告）。

## 基本目標 4 「地域の人がつながり、支え合える安全・安心のまちづくり」

数値目標	策定当初	現状値	目標値	備考
①近所づきあいがある市民の割合の向上	37.1% (H25)	データなし (次回 R01 集計予定)	45% (H31)	「日頃からつきあいがある12.9%」、「会えば立ち話をする24.2%」の回答割合を向上させる（出典：朝霞市民意識調査）。
②生きがいをもっている高齢者（65歳以上）の割合の向上	78.3% (H26)	67.2% (H29)	81% (H31)	90歳以上の方の80.8%は「生きがいがある」と回答していることから、65歳以上の高齢者全体がこの割合に到達することを目指す（出典：朝霞市高齢者福祉計画）。